

# 次期西京区基本計画の枠組み

## 1章 西京区基本計画とは

- 1 計画の位置付け
- 2 取組期間 令和3(2021)年度～令和7(2025)年
- 3 策定に当たっての考え方

## 2章 西京区の概要

### 1 西京区の地勢・自然環境

- ・京都市の西南部に位置し、京都の西の玄関口としての役割。昭和51年に右京区から分区して誕生。
- ・嵐山、小塩山、ポンポン山等から成る西山連峰、京都を代表する河川の桂川を有し、緑豊かで自然に恵まれた地域。等

### 2 西京区の現状

#### ○継続する人口減少と少子・高齢化

- ・西京区の人口は150,962人(平成27年 国勢調査)、とりわけ洛西ニュータウンでの人口減少・高齢化が進展。

#### ○「地域力」を活かしたまちづくり

- ・新たなまちづくり団体による活動や新たな地域イベントの開催。
- ・健康・医療・福祉・教育等、各分野における地域ぐるみでの支え合いの取組。
- ・自治会加入率の低下、コミュニティの希薄化等に対する危機感の拡大。

#### ○都市基盤整備の進展

- ・バスダイヤの増便、停留所の新設等。
- ・京都第二外環状道路の整備、国道9号京都西立体交差事業、阪急京都線連続立体交差事業。
- ・西京区総合庁舎整備。
- ・商業施設の撤退等身近な場所での商業機能の不足。
- ・阪急高架下洛西口～桂駅間ブライダル以外の進展。
- ・京都芸術大学移転を控えた跡地活用の検討。

### 3 西京区の課題

#### ○だれもがいきいきと暮らせるまちづくりや地域コミュニティの活性化が必要

- ・自治会加入促進等地域コミュニティの活性化や地域の連携による健康・医療・福祉・教育・防犯・交通安全防災等各分野での取組の進展が必要。
- ・子育て世代への支援充実による、若い世代の定着や転入促進等が必要。

#### ○豊かな自然環境の保全や環境と共生するまちづくりを進めることが必要

- ・環境共生、低炭素・循環型社会の構築に向け、環境への意識を高め、行動することが必要。
- ・自然景観・歴史的景観の保全やそれら活動への支援、若い世代、高齢者が魅力を感じる住環境づくりが必要。
- ・観光等をはじめ、他分野と連携した農業を軸にしたまちづくりの取組を進めることが必要。

#### ○地域の手で磨きがかかる農業

- ・特産品を生かした近郊農業の振興。
- ・特徴ある農業を軸とした地域ブランドづくり等地域活性化の取組。

#### ○文化・スポーツ・観光の展開

- ・市民参加型アートイベントや歴史文化を巡るイベント、健康・スポーツイベント等の開催。
- ・大学等学術研究機関と連携した取組。
- ・地域の魅力資源を活かした観光イベント等の開催や、亀岡市・向日市等との交流。

#### ○安心・安全な暮らしを支える取組

- ・地域と区、警察等が連携した防犯・交通安全活動。
- ・消防等関係団体と地域が連携した防災対策等、災害対応力向上の取組。

#### ○環境と暮らしの調和

- ・身近な自然の保全やごみ減量・リサイクル活動、まちの美化活動等環境に配慮した取組。
- ・人口減少に伴う空き家の発生。
- ・地域の特性に応じた景観まちづくりや既存住宅等を活用した多様な住宅ニーズへの対応。

#### ○地域資源を活用したまちづくりを進めることが必要

- ・歴史文化を活用した地域振興や域内回遊性の向上等地域資源と連携した観光の仕組みづくりが必要。
- ・観光分散化につながる都市間交流推進が必要。
- ・スポーツ、生涯学習の環境を整えることが必要。
- ・大学や学術研究と区民の交流を深め、地域の活性化・発展につなげる必要がある。

#### ○都市基盤の整備と公共交通体系の一層の充実が必要

- ・公共交通の利便性向上や利用促進とともに、計画的な道路整備を進めていくことが必要。
- ・区民の生活を支えるため、身近な地域での商業機能確保等、賑わいづくりが必要。
- ・市民意見を踏まえた総合庁舎整備や芸大跡地活用について継続的に検討することが必要。

## 計画骨子(案)

### 3章 西京区の将来の姿

- 西山の緑かがやき 未来をひらく西京区<現行計画>
- 未来に向かって輝け住みよい西京区! <40周年キャッチコピー>
- 緑とゆとりを守り、各世代が支えあい心豊かに共生できるまち<洛西ニュータウンアクションプログラムキャッチフレーズ>
- “味わいたい・訪ねたい・住みたいまち”大原野<大原野「地域ブランド」戦略>

### 基本的視点

○文化力○定住人口の増加、企業活動の活性化○レジリエンス、SDGsの推進

### 【重点取組】次世代へ繋ぐプロジェクト

- (1)職住近接のまちづくりの推進(4-⑧)
- (2)新産業の創出(4-⑩)
- (3)自治会加入率の向上(1-③)
- (4)新たな交通ネットワークの検討(4-②)
- (5)近隣市区町等との連携の推進(3-④)
- (6)大学・学術研究機関等と地域との連携の推進(3-⑥)
- (7)芸大跡地活用の検討(4-⑪)

### 4章 まちづくりの方向性・取組分野

#### 1 誰一人取り残さない人と人が支え合う区民が主役のまちづくり

～地域の絆を育み、安心して暮らせるまちを目指して～

【取組分野】

- ①だれもが尊重されるまちづくりの推進(人権)
- ②地域コミュニティの更なる活性化(地域コミュニティ)
- ③自治会加入率の向上<重点>(自治会加入)
- ④協働によるまちづくりの推進(区民参加)
- ⑤福祉のまちづくりの推進(地域・高齢者・障害者福祉)
- ⑥子育て・教育環境の充実(子育て・教育)
- ⑦健康づくりの推進(保健・医療)
- ⑧安心・安全なまちづくりの推進(安心・安全)

#### 2 環境と共生するまちづくり

～美しい自然を守り育て、未来へ引き継ぐまちを目指して～

【取組分野】

- ①自然環境の保全と緑化の推進(自然環境)
- ②「歩くまち・京都」の推進(歩くまち・京都)
- ③まちの美化活動の推進(まちの美化)
- ④脱炭素・循環型社会の構築(脱炭素・循環型社会)
- ⑤美しい景観の保全・創出(景観)
- ⑥田園環境の保全と農業の振興(農業)

#### 3 人と歴史・文化が輝くまちづくり

～地域の魅力を生かし、多彩な交流が進むまちを目指して～

【取組分野】

- ①地域の歴史・文化の継承と活用(歴史・文化)
- ②地域の魅力を活かした観光の振興(観光)
- ③市民スポーツの振興(市民スポーツ)
- ④近隣市区町等との連携の推進<重点>(都市間交流)
- ⑤生涯学習の推進(生涯学習)
- ⑥大学・学術研究機関等と地域との連携の推進<重点>(大学等との連携)

#### 4 いつまでも住み続けられる都市基盤が整うまちづくり

～快適で、いつまでも住み続けたいと思うまちを目指して～

【取組分野】

- ①公共交通体系の充実(公共交通)
- ②新たな交通ネットワークの検討<重点>(新交通ネットワーク)
- ③暮らしやすい道路環境の整備(道路環境)
- ④河川・上下水道の整備(河川・上下水道)
- ⑤公園の活性化(公園活性化)
- ⑥安心で安全な都市基盤の整備(耐震化等)
- ⑦西京区総合庁舎整備(総合庁舎整備)
- ⑧職住近接のまちづくりの推進<重点>(職住近接)
- ⑨商工業の振興(商工業)
- ⑩新産業の創出<重点>(新産業)
- ⑪芸大跡地活用の検討<重点>(芸大跡地)
- ⑫住み続けられる住環境の整備(住環境)

### 5章 実現に向けて

- 1 協働によるまちづくりの推進
- 2 計画の推進体制